

令和四年度

# 重要事項要望書



日ごろは徳島市政の推進につきまして、格別のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、国内外において人々の健康や日常生活、また経済活動に大きな影響をもたらしております。徳島市では、市民の命と生活を守ることを第一に、「新型コロナウイルス感染症対策」と「社会経済活動の両立」に向けた取組を積極的に進めております。さらに「新型コロナウイルスワクチンの接種」につきましても、さらに加速化するため、関係機関と緊密に連携し、市を挙げて取組を進めているところです。引き続き、本市の関連施策の推進につきまして、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

また、本市では『徳島市総合計画2021』を策定し、将来像である「わくわく実感！水都とくしま」の具現化に向けた取組がスタートいたしました。「SDGsの実現」をはじめ「中心市街地の新たなまちづくり」、「地方創生」、「国土強靱化」など重要課題は山積しております。これらの諸課題に迅速・的確に対応し、「わくわくを実感できるまち」を実現させていくためには、貴職の一層のご支援・ご協力が必要不可欠でございます。

つきましては、令和4年度の予算編成及び政策決定に際し、このたび要望いたします本市重要事項について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年8月

徳島市長 内藤 佐和子

## 令和4年度重要要望事項 目次

主管省庁局	要 望 事 項	頁
総務省 自治行政局	基幹系情報システムの標準化・共通化に向けた支援について	1
国土交通省 水管理・国土保全局	吉野川の直轄管理区間における洪水・地震津波対策の促進について	3
国土交通省 道路局	高規格道路網等の整備推進について	7
国土交通省 道路局	通学路の交通安全対策について	11

# 基幹系情報システムの 標準化・共通化に向けた支援について

< 主管省庁局：総務省 自治行政局 >

## 【要望の趣旨】

基幹系情報システムの標準化・共通化の推進に向けて、限られた期間と資源の中で、目標である2025年度末までに遅滞なく進めていくためにも、必要な支援及び措置を要望するもの。

### 現 況

- 本市では住民情報を扱うほとんどの業務について、メインフレーム上で独自開発した情報システムを利用している。
- 令和2年12月に「自治体DX推進計画」が提示されたが、完了目標時期以外の詳細や手順書等の具体的な内容が示されていない。

### 課 題

- 独自システムから標準仕様に準拠したシステムへ移行するには、多大な経費が必要となるだけでなく、データ移行や運用の見直し等に係る作業が膨大となることが想定され、期限内に完了させるには職員にかかる負担が非常に大きい。
- 全ての自治体が一斉に対応を実施するため、全国的にICT技術者が不足することが想定される。人材確保が滞ると、移行作業に遅れが生じる恐れがある。

2025年度末に完了するには、  
全庁的な体制の整備と余裕を持ったスケジュール並びに  
ICT人材の確保が不可欠

### 具体的要望内容

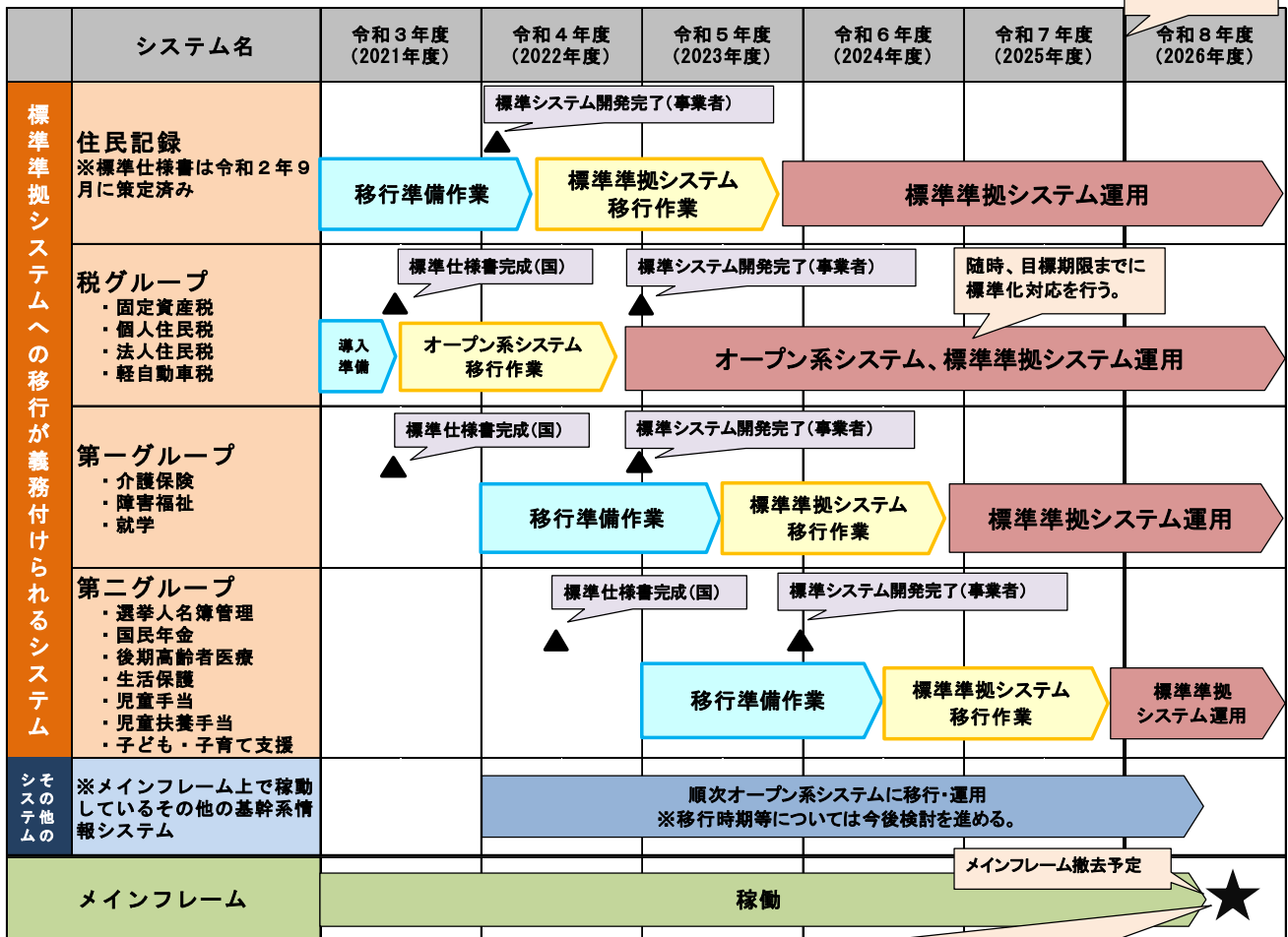
以下の2点について、特段のご配慮をお願いします。

1. 標準仕様策定にあたっては、自治体の意見を十分に反映した仕様とし、仕様書などを、予定されている時期から遅滞することなく自治体に提供すること
2. 全国的に作業が集中することが想定されるため、ICT技術者が不足することのないよう対策をとるとともに、移行に必要な経費にかかる支援については、職員の増員も視野に入れ、自治体の実情に応じた柔軟な対応を講じること

【徳島市担当部課】 総務部デジタル推進課

# 徳島市基幹系情報システムの標準化・共通化対応ロードマップ（案）

目標時期：  
令和7年度末



メインフレーム上で稼働している、その他の基幹系情報システムについても、順次オープン系システムに移行し、メインフレームを早い時期に撤去して、情報システムの運用経費の削減を目指す必要がある。

## <移行準備作業>

1. 推進体制（ワーキンググループ等）の立ち上げ（約1か月）
2. 現行システムの概要調査（約2か月）
3. 現行業務の棚卸し・標準仕様に基づく業務の見直し（約4～5か月）
4. 予算要求資料作成（約2か月）
5. 標準準拠システムの調達仕様書作成（約2～3か月）
6. システム事業者の選定・契約（約2か月）

## <標準準拠システム移行作業>

1. データ移行作業（約5～6か月）
2. 文字の標準化（約2か月）
3. 標準準拠システム・外部システムとの連携テスト（約4～5か月）
4. システム操作研修・運用準備（約2か月）

○1つの業務システムについて、標準仕様が示されてから標準準拠システム移行作業完了まで、約2年半の期間を要し、その作業の大半を職員が中心となり行う。

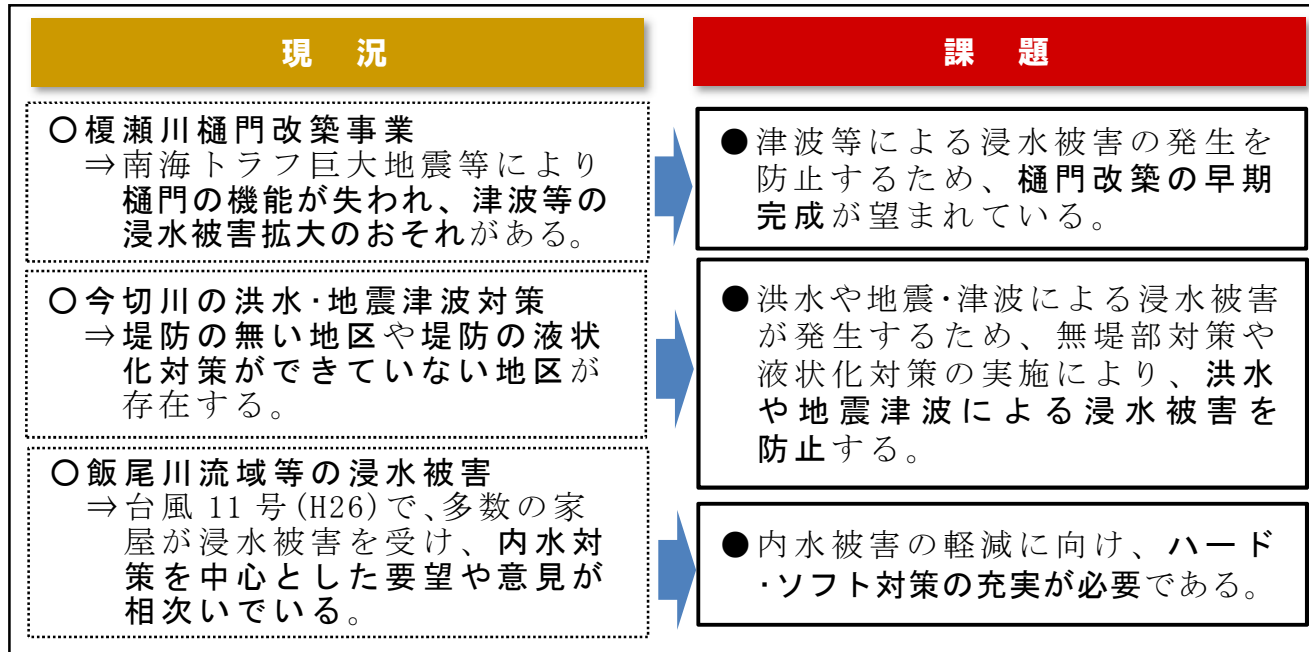
○目標時期である令和7年度末までに、17業務システムを移行するため、複数の業務システムの移行作業を並行して行うことから、職員にかかる負担が非常に大きい。

# 吉野川の直轄管理区間における 洪水・地震津波対策の促進について

< 主管省庁局：国土交通省 水管理・国土保全局 >

## 【要望の趣旨】

台風等の洪水による浸水被害や今後想定される南海トラフ巨大地震の津波被害の軽減を図るため、吉野川・今切川において必要な対策の計画的な実施に向け、治水事業費の予算確保について要望するとともに、直轄河川改修事業等の整備促進を要望するもの。



市民の安全で安心な生活を確保するため対策が必要である

## 具体的要望内容

徳島市は、雨水貯留施設や排水施設等の整備など、国と一体となって流域治水の推進を図ることとしており、国においても、吉野川における直轄河川改修事業等の整備促進と新規箇所の早期事業化について、特段のご配慮をお願いします。

1. 榎瀬川樋門改築事業
  - 榎瀬川樋門改築の早期完成
2. 吉野川・今切川の洪水・地震津波対策
  - 今切川の無堤地区への堤防整備及び堤防耐震対策の促進
  - 今切川右岸宮島江湖川及び榎瀬江湖川合流点への水門の新設
3. 内水対策
  - 角ノ瀬排水機場の能力向上(20 m<sup>3</sup>/s→40 m<sup>3</sup>/s)
  - 宮島江湖川及び榎瀬江湖川における排水機場の新設

近年、全国各地で水害が多発している状況を勘案すると、いつ発生するか分からない水害に備え、洪水被害を未然に防ぎ、市民の安全で安心な生活を確保するために、治水事業が計画的に進捗するよう、当初予算を最大限確保し、国土強靱化対策の加速化を図っていただきますようお願いいたします。

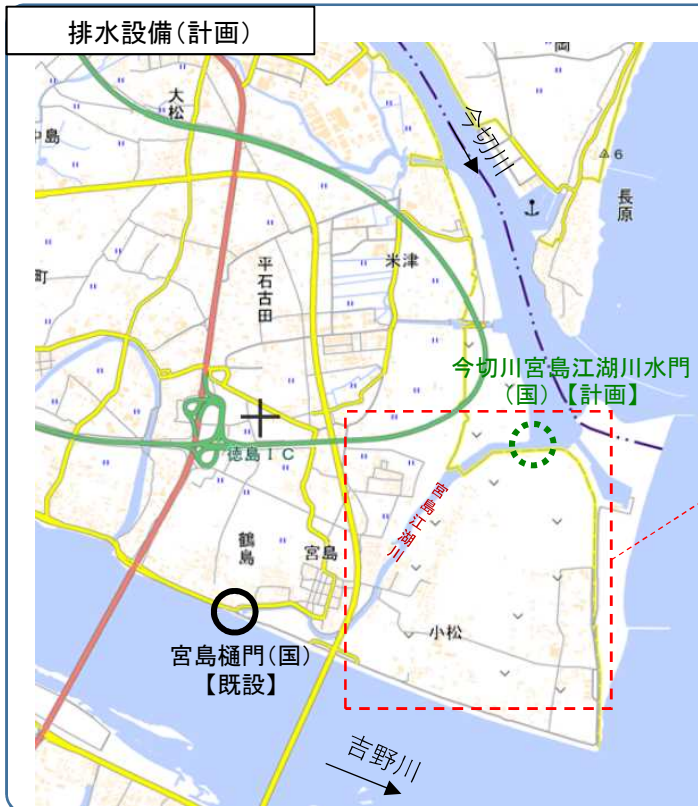
【徳島市担当部課】 都市建設部河川水路課



# 吉野川水系流域治水プロジェクト

～日本一の暴れ川から命と資産を守る治水対策～

- 徳島市では、浸水区域の解消や浸水被害の軽減を図るため、雨水排水施設(川内地区)や雨水貯留施設(南沖洲地区)などの整備を実施していきます。
- 市独自の取り組みとして、「徳島市流域治水検討会議」で関係部局と連携体制を構築し、更なる流域治水対策の検討を進めます。



南沖洲地区雨水貯留施設整備



田宮西都市下水路整備



【白紙】

# 高規格道路網等の整備推進について

< 主管省庁局：国土交通省 道路局 >

## 【要望の趣旨】

徳島市の将来計画において、高規格道路網等の機能を高め人口減少など社会の変化に対応できる持続可能な都市づくりを目指すとともに、災害に強く人に優しい道路環境が整備されることを目指している。このことから高規格道路網等の整備の推進について確実な事業の執行を要望するもの。

### 現 状

- 徳島南部自動車道
  - ⇒ 徳島沖洲 IC～徳島 JCT 間（令和 3 年度供用）、阿南 IC～徳島津田 IC 間整備中
  - ⇒ 徳島市のマリンピア沖洲産業団地や徳島県木材団地から空港港湾へのアクセスが不便
- 徳島自動車道
  - ⇒ 暫定 2 車線区間が約 7 割
  - ⇒ 通行止め時間ワーストランキングでは上位
  - ⇒ 速度低下の一因となるサグが 15 箇所存在
- 徳島環状道路
  - ⇒ 徳島市中心部では国道 11 号 55 号、192 号が交差しているため交通の集中により渋滞が慢性化

### 課 題

- 徳島南部自動車道
  - ⇒ 高規格道路、空港、港湾を生かしたまちづくり
  - ⇒ 関西圏への効率的な陸上輸送に課題
- 徳島自動車道
  - ⇒ 利用者の安全性、快適性、定時性、信頼性の確保が必要
  - ⇒ 大規模災害時の物資輸送路の確保。
- 徳島環状道路
  - ⇒ 未開通区間の整備推進
  - ⇒ 都市内交通と通過交通を分散させることが必要。

地方創生を力強く進めるための基盤となる  
高規格道路網等の整備を推進する必要がある

## 具体的要望内容

### 1. 高規格道路網等の整備推進について

- ① 徳島南部自動車道
    - ・ 徳島沖洲 IC～徳島 JCT 間の整備推進
    - ・ 阿南 IC～徳島津田 IC 間の整備推進
  - ② 徳島自動車道の早期 4 車線化
  - ③ 徳島南環状道路の整備推進
- 加えて、「強い物流」の実現に向けて、徳島環状道路を重要物流道路に指定し、整備推進

### 2. 道路関係予算の確保について

- ① 令和 4 年度の道路関係予算については、所要額を確保すること
- ② 新型コロナ収束後に地域経済を V 字回復させるため、今後の予算編成にあたっては、新たな財源の創設を含め道路関係予算を最大限確保すること

【徳島市担当部課】 都市建設部広域道整備課

# 徳島南部自動車道延伸によるストック効果の発現と 地域経済の好循環が加速

○徳島津田IC～徳島沖洲IC間の開通（R3.3）を契機に

「陸・海・空の結節点」をより強化

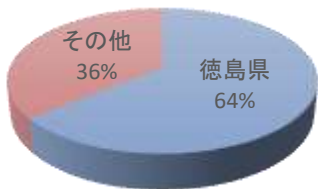
○徳島沖洲IC～徳島JCT間が令和3年度に開通が予定され

LED出荷額の増加に弾み

○徳島市総合計画では、阿南IC～鳴門JCT間の整備を契機として

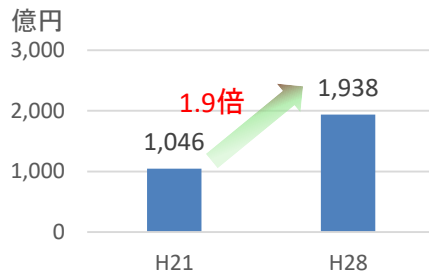
定住人口の増加、交流人口の拡大を目指す

■ LED出荷額  
国内シェア 1位（H28）



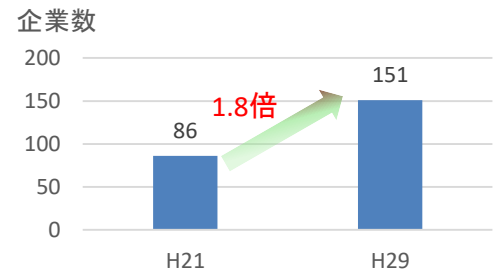
【経済産業省資料】

■ LED出荷額の推移



【経済産業省資料】

■ LED関連企業の集積推移



【徳島県資料】



# 4車線化により安全性、信頼性や使いやすさの向上を！



徳島自動車道 各IC間の課題の評価一覧 (高速道路における安全・安心基本計画)

大 ← 課題 → 小  
A B C D

路線名	区間		優先整備区間	暫定2車線の10間延長 [km]	対面通行区間延長 [km]	①時間信頼性の確保の観点			②事故防止の観点		③ネットワークの代替性確保の観点					
	自	至				25%以上 速度低下区間 延長 ※交通量5000台/日 未滿除く	渋滞回数	優先整備区間(時間・信頼性の課題有) 同士に挟まれた区間で30km以内の区間等	死傷事故件数	死傷事故率	運用率(年間通行止め時間) ※工事除く	積雪地かつ最急勾配4%より大きい	特定更新等	並行現道に課題		
徳島道	川之江東JCT	井川池田	◎	22	19	○	A	C	○	A	C	○	A	D	D	D
徳島道	井川池田	吉野川SAスマート	◎	5	3		C	D		B	B	○	A	D	D	D
徳島道	吉野川SAスマート	美馬	◎	16	11	○	A	C		B	C	○	A	D	D	D
徳島道	美馬	脇町	◎	12	5		B	D	○	A	B		B	D	D	D
徳島道	脇町	土成	◎	19	8	○	A	B	○	A	B		B	D	D	D
徳島道	土成	藍住	◎	13	9	○	A	B		C	C		B	D	D	D

【国土交通省資料】

**速度低下**

時間信頼性に難

**中央突破事故**

令和元年12月  
死者2名・約7時間通行止！

安全・安心に難

**H28 通行止め時間ランキング**

区間	H28年度 通行止め時間	ワースト順位
土成IC～脇町IC	302hr/年	35位
脇町IC～美馬IC	300hr/年	37位
全国平均	31hr/年	

ネットワーク代替性に難

【国土交通省資料】

# 『徳島環状道路』の早期整備で中心部の渋滞緩和！ 地域生産性の向上による『地方創生』実現を！！

路線名	番号	観測地点 地名	平日24時間交通量(台/日)
一般国道55号	①	徳島市大松町上の口	44,523
	②	徳島市八万町沖須賀	58,962
一般国道11号	③	徳島市川内町鈴江北	57,493
	④	徳島市東吉野町1丁目	70,906
	⑤	徳島市徳島本町1丁目	60,247
一般国道192号	⑥	徳島市国府町観音寺	20,505
	⑦	徳島市庄町	28,928
	⑧	徳島市南出来島町	32,347

※H27年度 交通センサスより



**徳島市中心部  
渋滞状況**  
一般国道11号  
徳島市徳島本町1丁目付近

**徳島東環状線  
川内工区  
(H24.4月 供用)**



**徳島東環状線  
阿波しらさぎ大橋  
(H24.4月 供用)**



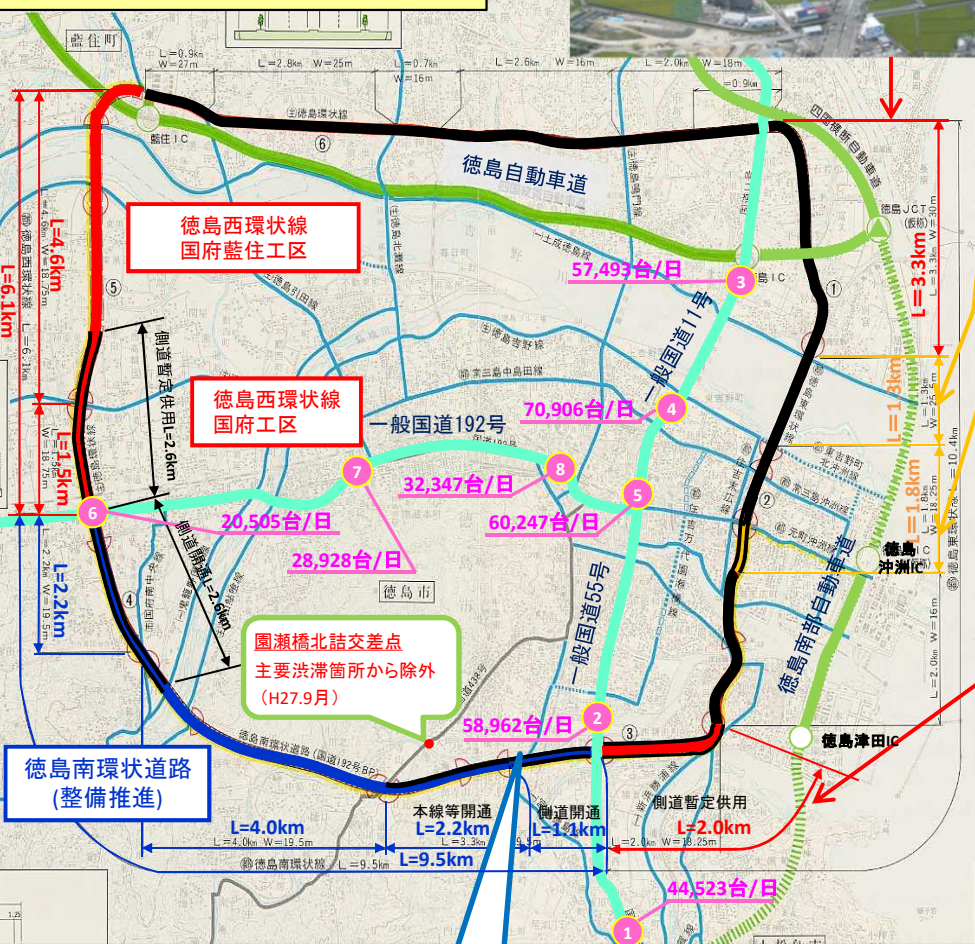
**徳島東環状線  
末広住吉工区  
(整備促進)**



**徳島東環状線  
新浜八万工区  
(整備促進)**



## 徳島環状道路 約35km



- 国土交通省
- 徳島県(道路事業)
- 徳島県(街路事業)
- 供用中



# 通学路の交通安全対策について

<主管省庁局：国土交通省 道路局>

## 【要望の趣旨】

児童の安全を確保するため、道路関連事業予算について、通学路の交通安全対策に必要な所要額の早急な確保を要望するもの。

## 現 況 及 び 課 題

- 令和3年6月28日、千葉県八街市で小学校の児童が下校中トラックにはねられ5人が死傷する事故が発生。
- 本市においても、交通量が非常に多い狭隘な通学路に車両が進入しており、児童が危険にさらされる状況にある。



児童の安全を確保するためには、**交通安全事業、街路事業等を行い、交通安全施設の整備、道路の拡幅、交通の分散を図る必要がある。**

## 具体的要望内容

以下について、特段のご配慮をお願いします。

道路関連事業予算について、通学路の交通安全対策に必要な所要額を早急に確保すること。

【徳島市担当部課】 都市建設部道路建設課



徳島市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。